【第147号　二〇一七年 三月 五日発行】

# 福音の園だより

平成18年度「高年齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞
平成27年度「介護職員確保・定着の為の優れた取組」表彰

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
350-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 **福音の園・埼玉　事務局**
☎049-230-1111(FAX230-1112)

## 「28年度」を振り返って― 理念・方針説明

## 「支える」は下から、「寄り添う」は横から

グループホーム **福音の園・川越** ホーム長 杉澤 卓巳

26年前、牧師職から特養ホーム「介護職」へ転身した。一時期「末期患者のホスピスケア」への転身を考えていた。迷う中で、ある方の「高齢者ホームでの看取りケアもホスピスケアと同様に大切な仕事ですよ！」という助言で最終決断した。

※　※　※　※　※　※

末期がん患者のホスピスケアは「痛みの緩和」。「痛み」には4種類あり、「人は全人的に痛む」。

1. **身体的痛み**―ホスピスケアの中心。
2. **精神的痛み**―不安、いらだち、恐れやうつ状態。
3. **社会的痛み**―仕事先や経済的な問題、家庭内人間関係の問題、時には遺産相続等の問題。
4. **魂の痛み**―死への恐怖、価値観の問題、生きる意味や人生の振り返り、病気の意味。

「全人的痛み」の中で最も難しいのは**魂の痛み**に対するケア。**身体的・精神的痛み**は投薬によりコントロールが可能。**社会的痛み**は信頼する弁護士等により遺産相続問題等もコントロールが可能。

ところが、「心の領域」である**魂の痛み**に「マニュアル化」は不可能。「何故、私だけこんなに若くて死ななければならないのか？」、「何故、私だけこんな病気になってしまったのか？」、「私の人生は何だったのでしょう？」―魂の叫び・魂から出た問い掛けには、どの質問・問い掛けも「答えられない質問」だという共通した特徴がある。**魂の痛み**を持っている人に、周りの人が出来ることは「寄り添う」こと。

## 「その人らしく」全うするのを支える

私たちの仕事は**「その人がその人らしく人生を全うするのを最期まで支える」こと**。「その人らしさ」を支えること。そのために心を結集するのが**「魂の痛みを訴える人」**に「寄り添う」こと。

「支える」は下からで、「寄り添う」は横から。支えるには「生活を支援する技術」が必要になるが、「寄り添う」ためには、**「私という人間」そのものの提供が必要**になる。食事や歯磨き介助するときには、私の「手」を差し出すけれども、優しいトーンからお声掛けするには等身大の「私という人間」を提供する。これが「寄り添う」という意味。

超高齢社会にあっては**365日が「敬老の日」**なのに「九月第3月曜日」一日限りで過ぎ去っている。高齢者への虐待（身体暴力、介護放棄、老親の年金や預貯金の横取り、暴言・悪態等）は、全ての人が絶対にしてはならない「基本中の基本」。

## 「立派に死ぬこと」を心得ている人たち

19世紀、ドイツ・バイエルンの農村に建つ教会で、35年牧師を務めたレーエという牧師さん。

「この村の人々は、たとえ立派に生きることができなかったとしても、立派に死ぬことは心得ておりました」とレーエ牧師は語る。「立派な死」を死ぬことができるように教会が助ける（寄り添う）ことを最も大切な務めであるとしてきたから。

村人たちの人生は様々。成功する人もあれば、挫折する人もある。誰もが立派に生きたとは言えないかもしれない。けれども、すべての人々が「立派に死ぬこと」は心得ていた。

「立派な死に方」とは何か？　醜い死にざまを見せないということか？　そういう意味では死に方は様々だし、自分で選ぶわけにはいかない。そうではなく、「最期を迎える道をわきまえていた」ということ。「うちのレーエ牧師さんはじめ、教会のみんなに最期を寄り添ってもらい、助けていただける」と、揺るぎない信頼を秘めていたから。

※　※　※　※　※

ところで、私たちの認知症対応型ホームは、認知症状を有するゆえに**「最期を迎える道をわきまえる」ことの困難なお一人ひとりが身を寄せておられる所**。そこで、「私（私たち）という人間」が代わって「立派に死ぬこと」を下から、そして横から「寄り添う」ことで、「その人らしく」人生を全うすることを支えて差し上げる。**『生涯で最も困難な時期を支え、今一度「生きる力」を引き出して差し上げることが私たちの最大の仕事』**と言える根拠がここにある。そして、ここに私たちの誇りがある。

### お知らせ―「福音の園・川越」基本理念

一、（支援技術に基づいた）**心に触れる優しい支援の実践**
二、（福音「聖書」に基づいた）**希望への支援の実践**

### 御礼

**慰問**（かるた取り 他）　木野目すみれ会様